

モニタリング結果報告書 (令和元年度)

1. 施設概要

施設名	座間谷戸山公園		
所在地	座間市入谷東1丁目地内		
サイトURL	http://www.zamayatoyama.kanagawa-park.or.jp/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成5年4月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会		
指定期間	H27.4.1 ~ R4.3.31 (2015年) (2022年)	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況の評価はB、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はAで、3項目評価はAとなった。 指定管理者は、これまで積み上げてきた県民協働による維持管理・運営管理を着実に継続して、利用者数・満足度ともに良好な実績を収めていること、苦情が発生しないよう丁寧な管理運営を行っていることなどを総合的に判断して、良好な管理を行っていたと評価する。 ただし、倒木処理中に作業員による事故が発生したことを踏まえ、これまで以上の安全対策の徹底をお願いしたい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 事業計画書の内容のとおり、里山環境の再生と明るく快適な空間づくり、里山体験や健康づくりの場の提供、連携協働を通じたより良い公園づくり、防災機能の確保等を実施した。</p> <p>◆利用状況 谷戸山公園まつりなど、様々なイベントを実施したが、台風第15号と第19号により倒木等の被害がでたことなどから、目標達成率99.1%となったため、B評価となった。前年度対比でも4.5%のマイナスとなっている。自然生態を活かした公園であり、利用者数は天候に大きく左右されるが、里山体験や健康づくりの場提供などのサービス向上で利用促進に取り組んでいる。</p> <p>◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が95.1%となったため、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 自販機利益が計画額を下回ったが、支出については節電などによる光熱費の縮減や施設管理など外注予定業務を直営で実施するなどの節減努力によって支出が当初予算額から1,130千円の減となり、収支比率は1.4%のプラスとなったため、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望 特になかった。</p> <p>◆事故・不祥事 令和元年12月16日、作業員が地面にある倒木処理をしていた際に負傷者とは別の作業員が高さ6~7mの樹木から地面に垂れていた折れ枝を引っ張ったところ、その折れ枝が落下し、負傷者の頭部に当たった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査からの指摘事項はなかった。労働基準監督署からの指摘事項はなかったが、作業員の事故に対する「再発防止対策書」の提出を求められ、指定管理者が令和2年2月17日に提出した。</p> <p>◆その他 なお、令和元年度の3項目評価についてはA評価とした。</p>	
3項目評価	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	無
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	随時	無
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
		指定管理者作業員の事故が発生し、再発防止対策報告書の提出を求めた。

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>里山環境の再生と明るく快適な空間づくり</p> <p>○適切で効率的な樹林管理 ○生物多様性に配慮した維持管理 ○資源循環型管理の実践</p>	<p>○計画量の2倍以上の本数の枝おろしや7倍以上の枯損木処理を実施した。</p> <p>○エリア毎に目標を定めた維持管理をきめ細かく実施したほか、特定外来生物の駆除や希少種の保護を実施するなど、生物多様性に配慮した維持管理を行った。</p> <p>○間伐材を活用して案内標識やベンチを作成するなど資源循環管理を実施した。</p>	<p>提案した内容は実施され、着実な里山環境の保全・活用が図られた。</p> <p>今後も環境保全と効率的な維持管理の両立のため、努力と工夫を期待する。</p>
<p>里山体験や健康づくりの場の提供</p> <p>○体験プログラムの充実 ○健康づくりの場、サービスの提供 ○拠点施設の有効活用</p>	<p>○自然観察会、親子で米作り隊、里山保全隊を実施した。</p> <p>○収穫イベントやボランティアと協働での花壇管理等を実施した。</p> <p>○やとやま講座、里山遊び、谷戸山いき物展等で有効に活用した。</p>	<p>提案した内容は実施され、利用促進の効果が認められた。</p> <p>今後も魅力的な野外体験、健康づくりの場を提供し、さらなる利用促進が進むことを期待する。</p>
<p>連携協働を通じた、より良い公園づくり</p> <p>○「運営会議」との連携・協働 ○企業や学校への体験機会の提供 ○地元との連携による広報の充実</p>	<p>○年間10回の運営会議で、利用団体等との意見交換を行った。</p> <p>○鉄道事業者等と連携して「駅からウォーキングマップ」を作成し、座間駅と相武台前駅に配架した。</p> <p>○座間市北地区文化センターとの連携による広報掲載などに取り組んだ。</p>	<p>提案した内容は実施され、相応の効果が認められた。</p> <p>公園の特性を踏まえ、効果的な連携協働を期待する。</p>
<p>防災機能の確保</p> <p>○防災設備の点検、補修の徹底 ○備蓄品の充実 ○周辺施設との連携</p>	<p>○定期稼動点検を実施した。</p> <p>○食料・水、簡易トイレ等を備蓄している。衛星電話で県と通信訓練を行った。</p> <p>○座間市消防署と協働で消防訓練、AED訓練を実施した。</p> <p>○指定管理者の(公財)神奈川県公園協会全体で緊急参集訓練を実施した。</p>	<p>提案した内容は実施され、広域避難場所である当公園の防災機能の確保に努めている。</p> <p>座間市と連携した不断の備えを期待する。</p>

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
県立都市公園のPRのためのカレンダーの有償配布を行った。	令和元年度から計画どおり事業を実施した。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
B	

	前々年度	前年度	令和元年度
利用者数※	430,458	414,537	395,874
対前年度比		96.3%	95.5%
目標値	385,114	399,300	399,300
目標達成率	111.8%	103.8%	99.1%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数と団体利用者数から推計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施	本報告書では、県による休日3回、平日3回、イベント時1回の計7回調査の結果を使用する。昨年度のAからS評価になり、指定管理者の努力がうかがえた。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 103 / 103 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	64	34	0	4	1	103	
回答率	62.1%	33.0%	0.0%	3.9%	1.0%		
前年度の回答数	78	11	9	1	0	99	
前年度回答率	78.8%	11.1%	9.1%	1.0%			
回答率の 対前年度比	78.9%	297.1%	0.0%	384.5%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	65,355	0	1,912	自販機1,922	67,267	67,267	0	
	決算	65,355	0	2,009	自販機2,009	67,364	66,409	955	101.44%
前年度	当初予算	65,355	0	1,957	自販機1,957	67,312	67,312	0	
	決算	65,355	0	1,864	自販機1,864	67,219	65,963	1,256	101.90%
令和元年度	当初予算	66,565	0	2,003	自販機2,003	68,568	68,568	0	
	決算	66,565	0	1,836	自販機1,836	68,401	67,438	963	101.43%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和元年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容	対面	1 件	公園外周の樹木剪定の依頼	早急に樹木剪定を実施した。
	手紙	1 件		
その他	対面	1 件	四阿を占有して使用しているグループがあり、ほかの来園者が利用できない。	四阿の利用者に譲り合ってお使いくださいとお願いし、後日、張り紙を設置した。
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
令和元年12月16日	①負傷した作業員が地面にある倒木処理をしていた際に、負傷した作業員とは別の作業員が高さ6～7mの樹木から地面に垂れていた折れ枝を発見したため、引っ張ったところ、その折れ枝が落下し、負傷した作業員の頭部に当たり、頭蓋骨にヒビが入った。 ②事故当日に指定管理者からの報告を受け、状況をヒアリングするとともに事故報告書(第一報)の提出を指示。12月17日に指定管理者と県職員による事故現場の調査を行った。 ③負傷者は入院して治療を受けたのち、4日後に退院。年内は自宅療養を行い、年明けから通常勤務を開始。指定管理者とは再発防止に向けた対策を協議し、その結果を取りまとめた再発防止対策報告書を提出してもらった。 ④クレームはなし。 ⑤作業中にヘルメットを着用していなかったこと、作業中の周辺の確認や掛け声を怠ったことが原因。治療費の負担は指定管理者が行った。 ⑥記者発表はなし。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。